

第20回 まちとすまいの集い 現代中国の建築・都市



今回の「まちとすまいの集い」は、20回目という節目となります。そこでこれまで名古屋大学建築学教室に関係した卒業生・教員より、現在国内外で幅広く活躍されている講師をお招きし、「現代中国の建築・都市」をテーマとして、今後あるべき建築の姿について皆様と共に考えていきたいと思います。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2018.12.15(土)
13:30-17:15
名古屋大学 環境総合館
レクチャーホール
定員100名 無料
(要申込)

【開催概要】

日 時 2018年12月15日(土)13:20~17:15
 場 所 名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール
 参加費 無料(定員100名)

【プログラム】

- 13:30 主催者挨拶(建築学教室主任 丸山 一平)
- 13:35 趣旨説明(まちとすまいの集い幹事 小松 尚)
- 13:40 講演① 錢 強 氏
「自作から考える中国の現代建築」
- 14:25 講演② 東福大輔 氏
「中国で生きる日本人設計者の『処世術』」
- 15:10 講演③ 譚 洪衛 氏
「持続発展社会に求められる建築の在り方
—中国のグリーン建築について」
- 16:10 3氏によるクロストーク
コーディネータ 西澤泰彦
環境学研究科教授・副研究科長
- 17:10 閉会挨拶
なお、12:30より減災ギャラリー(減災館1,2階)をご覧になれます。

【会場案内】



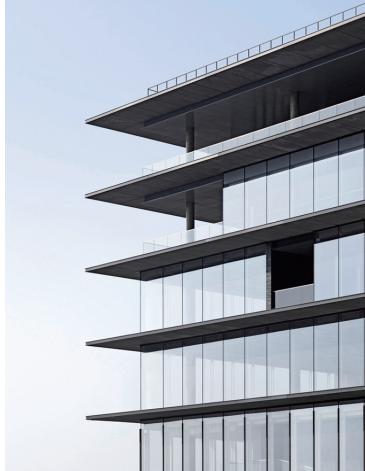
【お申込み方法・お問い合わせ先】

必要事項を記入(お名前、ご所属、ご住所、TEL/FAX/
E-mail)を記入の上、下記までE-mail,FAXまたは郵送にて
お申し込み下さい。
12月11日(火)を締切とさせていただきます。

名古屋大学建築学教室
まちとすまいの集い事務局(担当:穂積)
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C2-④
TEL:052-789-5233 FAX:052-789-3773
Email:machi@nuac.nagoya-u.ac.jp
http://www.nuac.nagoya-u.ac.jp/machi/

【講演概要】

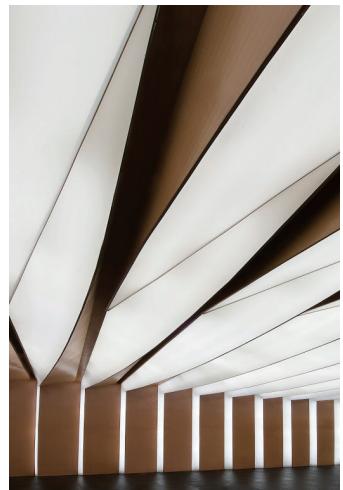
- ① **自作から考える中国の現代建築**
錢 強(ちえん ちいあん) 東南大学建築学院教授
UDG聯創設計 総建築師


2004年8月帰国してから、もう14年目になり、大学教員として建築教育の仕事をしつつ、建築家として建築デザインの仕事をしております。中国経済の発展に伴い、建設業も急速に成長しており、それとともに都市計画と建築デザインの仕事も増えています。中国の建築家たちがその背景の中に環境・社会・都市等さまざまな問題と課題を取り上げて、建築の価値を発現させ、建築の実現に向けて挑戦しつつあります。今回は自分の建築デザインの作品を通して、中国の現代建築の現状を話していきたいと思います。

② 中国で生きる日本人設計者の『処世術』

東福大輔(とうふく だいすけ) 零三工作室主宰

13億の人口を有し、政治・経済の様々な分野で気を吐く中国。もちろん、建築設計業も例外ではなく、国の経済を牽引する産業の一つといえるでしょう。一方で、閉塞感の漂う日本を脱出して中国市場に活路を求めようとする日本人設計者やメーカーは後をたちません。いったい、中国の市場や施主は彼らに何を求めているのでしょうか。北京周辺にある外国人設計の建物を題材に、現地の建築システムを俯瞰し「中国に対応する日本の建築」について考えてみようと思います。



③ 持続発展社会に求められる建築の在り方

—中国のグリーン建築について
譚 洪衛(たん ほうえい) 同濟大学教授
名古屋大学環境学研究科客員教授



東京大学建築学科で博士号を取得。2000年に中国へ帰国し、同濟大学(中国上海)にて建築工学とエネルギー工学の多くの分野にわたる持続可能な建築技術(グリーン建築技術)を18年間研究し、また多学科アプローチ教育も模索してきた。

現在、中国では都市化の進行に伴った建築分野のエネルギーの消費の急増、環境悪化を背景に、持続的に発展する社会作りに応じて環境共生の持続型建築が求められている。

グリーン建築のコンセプトから技術応用へ、また大学教育から、イノベーションコンペティションへ、そして数多くの研究から実プロジェクト実施まで、積み重ねた経験と思考を基に、中国におけるグリーン建築の発展現状と将来像をトピックスとして取り上げていきたい。